

平成24年12月3日（月曜日）午後2時16分 開 議

●議事日程第1日 12月3日（月曜日）

第1 開 会

第2 会期の決定

第3 議案第14号 平成24年度飯塚地区消防組合補正予算（第1号）

第4 議案第15号 公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること

第5 認定第1号 平成23年度飯塚地区消防組合歳入歳出決算の認定

第6 署名議員の指名

第7 閉 会

●会議に付した事件

議事日程のとおり

午後 2 時 1 6 分 開会

○議長（兼本 鉄夫）

△開会

出席議員が定足数に達しておりますので、これより平成 2 4 年第 4 回飯塚地区消防組合議会定例会を開会いたします。

△会期の決定

会期の決定を議題といたします。おはかりいたします。本定例会の会期は、1 2 月 3 日、一日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、1 2 月 3 日、一日と決定いたしました。

行政報告に入ります。

組合長の行政報告をお願いいたします

齊藤組合長

◎組合長（齊藤 守史）

本日、平成 2 4 年第 4 回消防組合議会定例会を招集するに当たり、本年 3 月定例会以降本日まで事務事業の概要を報告し、審議の参考に供します。

はじめに、飯塚地区消防組合基本計画に基づき、組織再編実施計画の策定に関し検討を行うため、組織再編実施計画外部検討委員会を設置し、平成 2 4 年 1 1 月 6 日に、委員 1 2 名に委嘱状の交付を行いました。

次に、災害応援出動についてでございます。平成 2 4 年 7 月 1 4 日に発生した九州北部豪雨において、福岡県消防相互応援協定に基づき、指揮隊、救助隊及び救急隊各 1 隊の合計 1 0 名が、八女市上陽町猿落地区へ出動し、住民の避難誘導活動を行いました。

次に、消防車両の購入につきましては、水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車の購入契約を 7 月 2 0 日付けで締結し、水槽付消防ポンプ自動車は 1 1 月 9 日に納車されましたので、山田消防署稲築派出所に配置いたしました。高規格救急自動車につきましては明年 3 月 2 5 日に納車後、山田消防署に配置することといたしております。

次に、救急救命士の養成につきましては、救急救命士教育研修計画に基づき、国家試験に合格した救急救命士 2 名に 3 か月間の就業前研修を、資格取得後 2 年ごとに実施する再教育として救急救命士 8 名に 6 日間の病院内研修を実施したほか、救急救命東京研修所及び九州研修所で実施される救急救命士養成課程に各 1 名を入校させております。

このほか、薬剤投与の病院実習が修了した救急救命士 1 名に福岡県メディカルコントロール協議会から認定証が授与されました。

次に、防火、防災意識の高揚につきましては、幼年消防クラブの健全な育成とクラブ相互間の親睦を深めるため10月25日に管内29の保育幼稚園児983名の参加による、第9回幼年消防ふれあい祭りを開催し、幼児を通じて家庭内での防火意識の普及、啓発を図りました。

また、住宅等の火災を防止し、火災発生時の人的被害を軽減するため、職員延べ553名を動員して、一般住宅の防火査察を5,937件実施し、火気取扱いの指導を行いました。

住宅用火災警報器の設置推進及び維持管理の徹底につきましては、構成市町とともに飯塚地区住宅用火災警報器設置対策連絡会を開催し、住宅用火災警報器の設置に関するアンケート調査等を実施しました。

次に、研修、訓練等の実施状況につきましては、職員の資質の向上を図るため、消防大学の救助科に1名、幹部科に1名、福岡県消防学校の初任教育課程に9名、各種教育課程に10名が入校いたしました。

また、8月7日に、東京都で開催された、第41回全国消防救助技術大会に福岡県大会、九州大会を勝ち抜いた、ほふく救出及びロープブリッジ救出の各1チームが出場し、ほふく救出は、51チーム中7位、ロープブリッジ救出は、29チーム中10位の成績を収めました。

以上が3月消防組合議会定例会以降、本日までの事務事業の大要であります。

これより本消防組合議会に提案申し上げます案件は、平成24年度の補正予算議案1件、人事議案1件、認定1件であります。

それぞれの議案は、上程されました都度、担当者をして説明させますので、よろしくご審議のうえご議決いただきますようお願いを申し上げます行政報告を終わります。

○議長（兼本 鉄夫）

議案第14号平成24年度飯塚地区消防組合補正予算第1号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

和田消防長

◎消防長（和田 幸和）

議案第14号平成24年度飯塚地区消防組合補正予算第1号の提案理由をご説明申し上げます。

お手元の資料平成24年度補正予算書の1ページをお開き願います。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ8,030万8千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、26億4,618万6千円とするものでございます。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額及び既定予算の地方債の変更につきましては、予算書2ページから4ページに記載の第1表歳入歳出予算補正及び第2表地方債補正のとおりでございます。

次に、補正の主なものについてご説明をいたします。

予算書の6ページをお開き願います。

2歳入、1款分担金及び負担金、1項負担金、1目組合費負担金1,841万2千円の増は、当初予算では、平成23年度の地方交付税消防費を基礎に算出した額を計上いたしていましたが、平成24年度の地方交付税消防費で、単位費用が11,200円から11,300円へと100円引き上げられたことによるものでございます。

各市、町ごとの補正額の内訳は、右説明欄に記載のとおりでございます。

次に、2款使用料及び手数料、2項手数料、1目消防手数料、18万4千円の増は、右説明欄に記載の危険物製造所等申請手数料の増によるものでございます。

次に、3款財産収入、1項財産運用収入、1目利子及び配当金、249万4千円の増は、消防賞じゅつ金基金、消防施設整備基金及び財政調整基金の利息額を計上いたしたものでございます。その内訳は、右説明欄に記載のとおりであります。当初見込みから運用利率が上がったことによるものでございます。

次に、予算書の7ページ、3款財産収入、2項財産売却収入、1目物品売却収入、32万4千円の増は、右説明欄に記載の不用品売却収入の増によるものでございます。

次に、4款繰入金、1項基金繰入金、1目消防施設整備基金繰入金、1億2,001万4千円の減は、各種収入の増及び高機能消防指令センター総合整備工事費等の減に伴い、右説明欄に記載の消防施設整備基金繰入金を減額いたすものでございます。

次に、5款繰越金、1項繰越金、1目繰越金2,040万4千円の増は、平成23年度の歳計剰余金、4,081万1,943円から地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額、2,040万6千円を差し引いた残額を計上いたしたものでございます。

次に、6款諸収入、1項雑入、1目雑入、48万8千円の増は、山田消防署、車庫シャッター修理に伴う全国市有物件災害共済金の補填額を計上いたしたものでございます。

次に、7款組合債、1項組合債、1目消防債、260万円の減は、右説明欄記載の消防・救急無線デジタル化整備事業の入札に伴い契約金額が確定したことの減でございます。

予算書の8ページをお開き願います。

続きまして、3歳出についてご説明いたします。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、8節報償費、右説明欄記載の組織再編外部検討委員会委員謝礼金13万5千円の増は、飯塚地区消防組合基本計画に基づき、組織再編実施計画を策定するにあたり、組織再編実施計画外部検討委員会を設置したことに伴う委員の謝礼金を計上いたしたものでございます。

13節委託料、右説明欄記載の例規データベース構築委託料38万円の減は、執行残を減額するものでございます。

次に、25節積立金、右説明欄記載の財政調整基金預金利子積立金38万3千円の増は、歳入でご説明しました基金の預金利子を積み立てるものでございます。

次に、3款消防費、1項消防費、1日常備消防費2節給料417万1千円及び3節職員手当

等 306 万円並びに 4 節共済費、右説明欄、共済組合負担金 110 万 2 千円の減は、主に職員 2 名の中途退職による減でございます。

同じく 4 節共済費、右説明欄、公務災害補償負担金 55 万 7 千円の増は、東日本大震災に伴う特別負担金を計上いたしましたものでございます。

次に、9 節旅費、右説明欄、普通旅費 30 万 3 千円の増は、全国消防救助技術大会出場選手の旅費につきまして、当初予算に 1 チーム分を計上いたしておりましたが、行政報告でありましたように 2 チームが出場権を獲得し派遣選手が増えたため、不足額を増額補正いたすものでございます。

次に、12 節役務費、右説明欄、通信運搬費 33 万 4 千円の減は、各市町庁舎に設置しておりました災害連絡用専用回線電話を携帯電話へ切り替えたことによる減額分を計上したものでございます。

次に、13 節委託料、84 万 3 千円の減は、右説明欄記載の各種委託料の執行残を減額するものでございます。

次に、18 節備品購入費、右説明欄、超短波無線機購入費 152 万 8 千円の減は、執行残を減額するものでございます。

次に、25 節積立金、右説明欄、消防賞じゅつ金基金預金利子積立金 31 万 6 千円の増は、歳入でご説明いたしました、消防賞じゅつ金基金の預金利子を積み立てるものでございます。

次に、27 節公課費、右説明欄、自動車重量税 26 万 6 千円の減は、自動車重量税額の減額改正に伴う減でございます。

続きまして、9 ページ、3 款消防費、1 項消防費、2 目消防施設費、13 節委託料、396 万 2 千円の減は、右説明欄記載の消防救急無線デジタル化整備実施設計委託料及び高機能消防指令センター総合整備工事施工監理委託料の執行残を減額するものでございます。

次に、15 節工事請負費、右説明欄、高機能消防指令センター総合整備工事 5, 322 万 4 千円の減は執行残を減額するものでございます。

次に、18 節備品購入費、右説明欄、車両購入費 1, 493 万円の減は、水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車各 1 台の執行残を減額するものでございます。

次に、25 (節) 積立金、右説明欄、消防施設整備基金預金利子積立金 179 万 5 千円の増は、歳入で説明いたしました消防施設整備基の預金の利子を積み立てるものでございます。

次に、10 ページ以下の給与費明細書の説明につきましては、省略をさせていただきます。以上、平成 24 年度飯塚地区消防組合補正予算第 1 号の概要説明を終わります。ご審議のうえ、ご議決を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（兼本 鉄夫）

提案理由の説明が終了しましたので質疑を許します。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第14号平成24年度飯塚地区消防組合補正予算第1号は、原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり可決されました。

次に、議案第15号公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

齊藤組合長

◎組合長（齊藤 守史）

ただいま上程されました、議案第15号公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて提案理由をご説明申し上げます。

本消防組合の公平委員会委員であります、飯塚市新飯塚7番31号、笹田伸子氏の任期が満了となりますので、地方公務員法第9条の2第2項の規定に基づき、再任をお願いしようとするものであります。

本議会のご同意を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（兼本 鉄夫）

提案理由の説明が終了しましたので質疑を許します。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。

討論を許します。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第15号公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることは原案通り同意することにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり同意されました。

次に、認定第1号平成23年度飯塚地区消防組合歳入歳出決算の認定を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

和田消防長

◎消防長（和田 幸和）

認定第1号、平成23年度飯塚地区消防組合歳入歳出決算の認定について提案理由をご説明申し上げます。

議案書の3ページをお開き願います。

地方自治法第233条第3項の規定により、別紙監査委員の意見を付して議会の認定に付するものでございます。

議案書の4ページ以降に、歳入歳出決算の状況と施策の成果報告を添付いたしておりますが、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、決算規模でございますが、歳入決算額は、25億6,026万5千円、歳出決算額は、25億1,945万3千円となっております。これを前年度の決算額と比較いたしますと、歳入で1億8,951万1千円、歳出で1億9,841万4千円の減となっております。

次に、決算の収支につきましては、歳入歳出差引額及び実質収支額は、ともに4,081万2千円の黒字となっております。また、平成23年度の実質収支額から、前年度の実質収支額、3,190万9千円を差し引いた単年度収支額につきましては、890万3千円の黒字となっております。

次に、歳入の概要でございますが、歳入決算額25億6,026万5千円の主なものは、構成市町から拠出いただきました、分担金及び負担金の25億3,616万9千円構成比99.06%、繰越金1,595万4千円構成比0.62%、財産収入470万4千円構成比0.18%等でございます。

次に歳出の概要でございますが、歳出決算額、25億1,945万3千円の性質別経費の状況は、人件費、19億2,413万2千円構成比76.37%、物件費、1億4,239万6千円構成比5.65%、補助費等、1,370万4千円構成比0.54%、維持補修費445万5千円構成比0.18%、投資的経費7,125万5千円構成比2.83%、及び積立金、3億6,351万1千円構成比14.43%等となっております。

次に、施策の成果についてでございますが、5事務事業の概要以下に記載いたしておりますので、説明を省略させていただきます。

以上で、提案理由の説明を終わります。ご審議のうえ、ご認定を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（兼本 鉄夫）

次に、認定議案に対する監査委員の決算審査報告をお願いいたします。

梶原健一監査委員

◎監査委員（梶原 健一）

こんにちは。決算審査報告書。地方自治法第233条第2項の規定に基づき、先に組合長から審査に付されました平成23年度飯塚地区消防組合決算の審査を終了いたしましたので、その結果を報告いたします。

審査は、歳入歳出決算と付属書類の合規性、計数の正確性及び財政収集の状況等について行いましたが、いずれも関係法令に準拠した処理がなされ、平成23年度における決算収支の状況を適正に表示していることが認められました。

次に決算の概要について申し上げます。

歳入総額25億6,026万5千円に対しまして歳出総額は25億1,945万3千円で、歳入歳出差引額及び実質収支額は4,081万2千円の黒字となっております。

また、碓井派出所の浄化槽設置工事、桂川消防署の庁舎改修工事及び水槽付消防ポンプ自動車の設置状況を実地見分しましたが、施行及び管理状況は良好でありました。

以上、簡単に申し述べましたが細部につきましては、お手元の意見書をご覧くださいと存じます。

おわりに、日本経済については、東日本大震災からの復興が一向に進まない閉塞感、さらに欧米諸国の財政危機等による世界的な景気の減速の影響により、不安定な状況が続いています。経済の停滞による税収の減少や雇用問題に伴う社会保障費の増加等により国の財政状況が逼迫する中、地方交付税を財政の基盤とする地方公共団体においても、厳しい状況が続くと考えられます。このため、構成市町からの負担金で運営する消防組合においても、今後、財政的に厳しい状況になることが予想されます。

このような状況を受けて、消防組合においても、将来にわたって安定した消防行政を運営していくため、本年6月に飯塚地区消防組合基本計画を策定し、組織体制の適正化と財政運営の効率化に取り組まれているところです。

この計画に基づいて、より効率的な組織を構築し、限られた予算の中でさらに安心、安全な地域社会を確立するよう、関係者の一層の努力を望むものであります。

これをもちまして、平成23年度の決算審査の結果報告を終わります。

○議長（兼本 鉄夫）

提案理由の説明及び監査委員の決算審査報告が終了しましたので、認定議案に対する質疑を許します。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。



討論を許します。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論を終結いたします。

採決いたします。

認定第1号平成23年度飯塚地区消防組合歳入歳出決算の認定は、原案どおり認定することにご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案どおり認定されました。

次に、一般質問ですが、一般質問の通告はあっておりませんので、一般質問を終結いたします。

次に、署名議員を指名いたします。

8番 田中政喜議員 15番 吉田健一議員。

よろしく願いいたします。

以上をもちまして、議事日程の全てを終了いたしましたので、平成24年第4回飯塚地区消防組合議会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでございました。

午後2時43分 閉会

●出席及び欠席議員

( 出席議員 19名 )

1番 兼本 鉄夫	13番 梶原 健一
2番 豊 一馬	14番 上野 伸五
3番 田中 秀哲	15番 吉田 健一
4番 天野 高行	16番 八児 雄二
5番 青柳 久善	17番 松延 隆俊
7番 藤 伸一	18番 坂平 末雄
9番 宮原 由光	19番 北富 敬三
11番 道祖 満	20番 吉永 雪男
12番 小幡 俊之	

( 欠席議員 1名 )

10番 嶋田 尋美

●職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局書記	池永 昌直
〃	佐藤 康道
〃	脇坂 義信

●説明のため出席した者

組合長	齊藤 守史
副組合長	松岡 賛
副組合長	井上 利一
会計管理者	新井 俊孝
消防長	和田 幸和
総務課長	鬼丸 徳寿
予防課長	井原 眞次
警防課長	長野 文彦
指揮指令室長	高山 生爾
飯塚消防署長	戸畑 廣喜
飯塚署副署長	大塚 正道
山田消防署長	吉松 信之
桂川消防署長	池田 政治
総務課会計係長	篠崎 太望
総務課会計係	和多 良